

自己実現 2019

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【第2回実力考査教科・科目別講評】

＜国語＞

平均点は解答例に記載の通り、全体的に低かった。時間配分ができていない解答用紙も見受けられた。全問を通じて、漠然とした本文の読み取り、語彙を含む基本的な知識の不足が感じられた。基礎を疎かにして、入試問題に触れて受験生気分になっている現状から脱することを望む。その一方で、記述問題はよく書けており、そこで点を取った人が多く、二年生の時よりも意識が高まっていることが感じられた。

大問一（評論・平均点 21.2/60）はやや抽象的な文章ではあったが、記述問題は比較的良好にできているので、例についての理解はできた人が多いことがわかる。ただし、主題である風景論への展開が理解できなかったのか、選択問題や抜き出し問題の正解率は低かった。大問二（小説・平均点 12.6/40）については、語彙力のなさが目立った。江戸時代の歌舞伎の世界を描いたもので、なじみがない言葉や現代小説とは異なる文体に対応できていない。

大問三（古文・平均点 23.5/60）は比較的読みやすく、ある程度得点できた。教科書でも歌論書を習っているところだが、批評に用いる独特の表現を理解する必要がある。文法や単語の問題では確実に得点したい。大問四（漢文・平均点 7.4/40）の点数が非常に低かった。最後に解いて時間がなくなった人もいるだろうが、基本的な語彙や句形の問題ができていないのだから勉強不足は否めない。漢文は集中的に復習すれば、得点源になる分野である。

＜数学＞

今回の平均点は、文系 57.4/200 理系 61.1/200 とともに 30%前後で、厳しい点数の者も目立った。以前のように、小問形式の結果のみの出題がなく。大問ばかりのすべて記述式の文系 5 題、理系 6 題をそれぞれ 120 分、150 分という長い時間で 1 つ 1 つの問題をしっかりと考え抜いて解答をつくっていく形式です。思考の集中、スタミナも必要である。行き詰ったときにアプローチを変えるなど発想の転換とかを試みても必要になります。いずれの問題も基礎の集まり、確かな基礎力を今はしっかりつけてほしい。

文系 1 論証はまだ弱い、逃げずに取り組んでほしい、3 の三角関数と 4 のベクトルは、1 学期に授業で扱ったこともあり、基礎的な部分はできていた。5 の微積分はうまく計算する工夫を見つけると速さと正確さが増す。1/6 公式が使えたら処理も早いので意識しましょう。

理系 2 の領域と軌跡の考え方はまだ不十分な状態。要復習。3 の三角関数は、標準的でとれていた人も多かった。4 は対数・領域・確率などが融合されたもので、過去の例題等で解いてきたものが使えこなせたらたどり着く、演習の大切さを感じさせる問題である。

5 の微分は、グラフと方程式の解を扱う問題(頻出)で、正確な計算力と処理力を要する。微分が正確にできることが大前提である。そこが間違っているとどうしようもない。今後も微分する力、積分する力を演習を惜しまずつけてほしい。6 は、一見とっつきにくい問題に感じるがそういう問題こそ考えていくと容易に解答にたどり着くことが多く、あきらめずに具体例なども挙げながら粘る姿勢で取り組もう。

＜保護者の方々にも読んでいただきましょう＞

＜ご意見・ご質問をお寄せください＞

『自己実現 2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

<英語>

筆記 平均点 74.2点 / 200点

リスニング 平均点 32.0点 / 50点

【リスニング】 32.0点 / 50点

リスニング力を伸ばすためのスタートを切る時期として、この夏休みはもうギリギリのラインです。問題文に書かれてある英文を読みながら聞き取りをする、という作業はスムーズにできますか。どのタイミングで英文に目を通すか、メモをどのようにとるのか、なども含めてリスニング強化を図りましょう。

【発音・アクセント】 9.2 / 20点 (45.9%)

発音、アクセントを意識して単語の学習をしている人が確実に増えてきました。今後は派生語との発音、アクセントの違いにも注意してみてください。とにかく自分の口と耳を使って繰り返し覚える努力を。

【文法・語法】 13.3 / 40点 (33.2%)

基本事項を抑えた出題であるので、6割は目指してほしい問題である。〈C〉の問題が苦手な人は文の大きな構造が見えてない場合が多い。長文読解も同じであるが、英文の骨子となる5文型を抑える練習をしよう。

【表現・英作文】 12.4 / 40点 (31%)

〈A〉は正答率は33.8%で、特に(1)～(3)の正答率が低かった。また問題の指示(1語不要)に従っていない解答もみられた。並べ替えの問題は、英作文を書く時にも必要な考え方を含んでいるので、繰り返し取り組んでみよう。

〈B〉は和文英訳でしたが、(1)の「科学技術」(technology / science and technology[複数扱い] / modern technology)がきちんと書けない人が大半でした。(2)は「いかなる～も---ない」は“no experience is ---.”と主語にnoをつけて全否定の文とする。Experienceとexperimentを勘違いして書いている生徒が少なからずいた。(3)は、「～の一つ」をまだone of複数ときっちりとしていていなかったり、recommendのスペル、使い方があいまいな人がいた。基本事項を抑えて、点数をひかれずに英文を書けるようにしたい。また、peace of mindやsomething to live forなどのフレーズも覚えておこう。

〈C〉は自由英作文。正答率は、和文英訳(25.2%)よりも自由英作文(35.9%)の方が高かった。提示された条件を満たして、文法・語法のミスがなければ満点、軽微なミスでほぼ満点を取っている生徒が、少なからずいた。実際の入試の二次試験で、自由英作文で高い得点がとれて合格につながったと言っている先輩もいる。今後のテストでは、試験全体の時間配分に注意して、自由英作文に取り組めば、得点源になるので、文法・語法のミスに注意を払って条件を満たした英語を書いてほしい。

【長文】 40.2 / 100点 (40.2%)

【1】は言語と子供の成長の関係についての話。正答率は64.2%。問7のT or Fの問題は、本文を読む前に、軽く目を通してキーワードをチェックしておく問題が少し短縮できたのではないだろうか。

【2】は人が物を買う時の行動についての話。正答率は33.2%。goose, geeseを知らずに苦労した人も多かったようである。英作文で書くことはないかもしれないが、長文の中では様々な分野の単語に出会うことがある。日ごろから単語帳に出てくるものだけでなく、Rで読む長文やその他で目にする長文の中で単語力を伸ばしていこう。問3(3)はthisの内容を聞いているので、「～こと」のように名詞で答えてほしかったが、多くの人は1文の訳になっていた。

【3】は小説の抜粋。英語は簡単だが、文脈から場面を想像する力が必要。正答率は22.3%

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

と低かった。和訳や日本語での説明については、きちんと正解が書けている人が結構いた。

正答率は【1】→【3】と順に低くなっている。内容的に得意、不得意もあるとは思われるが、多くの方は【1】から取り組み、最後時間切れとなったと思われる。長文以外も含めて全体の時間配分を考えて問題に取り組みたい。

〈物理〉 物理(理系・総理)

平均点は23.0点(平均得点率46.0%)で、各問題の正答率(%)は、1(45.8)、2(43.8)、3(29.2)、4(68.8)、5(33.3)、6(41.7)、7(87.5)、8(37.5)、9(33.3)、10(43.8)、11(39.6)、12(77.1)、13(20.8)でした。

まずは力学分野の問題はクリアできてほしい。他の分野も今後着実に理解を深めてほしい。

〈化学〉 化学(理系・総理)

マーク模試は別日に実施されていますので、二次試験の力を測るための実力考査として出題しました。とはいえ特に難問といえるほどの設問はなく、(二次レベルとしては)基本～標準的なものがほとんどです。ただ、大問1を除けば大問2～4はある程度まとまりのある文章を読んで条件や題意を掴んで解く必要があるという意味で二次試験的です。前回4月の講評で「3年の学習にきちんと取り組むとともに、次の6月実力考査までに早目に2年までの理論分野の復習を進めましょう。」と書きましたが、結果として、この通りに取り組んでいた人は少なかったようです。マーク式問題集(チェック&演習)は既習範囲を一通り解き終わっていますか?無機の学習が終わって有機に入っていますが、覚えることに努力していますか?まずは8月マークで8割を達成できるようにしっかり復習を進めてください。時間不足になった人は普段から意識して問題を解く(計算も含めて)スピードをアップさせましょう。

化学基礎(総合化学)

全範囲から、センター試験に準じて正誤問題、計算力が問われる問題、グラフを読み取る問題などを出題した。授業で既習の分野は比較的できていたが、「酸化還元」の“酸化数決定”など基本で必ず正解してほしい問題を間違っている生徒も複数見受けられました。基本問題は解けるよう復習しておいてほしい。

〈生物〉 生物(理系・総理)

- 1 代謝 呼吸と光合成の共通点と相違点をまとめておこう
 - 2 遺伝子 DNAの複製と転写の違いをまとめておこう
 - 3 細胞分裂と遺伝 遺伝は夏休み中にマスターしておこう、遺伝の問題だけでは出題されないこともあるが、遺伝子の問題、発生の問題などの一部に含まれることがあります。メンデル遺伝、組換え、伴性遺伝は理解しておきましょう。
- 論述問題 説明が不足で減点されています。それぞれの解答にコメントを書いています。コメントの内容についてよくわからなければ繁戸のところまで。

生物基礎(総合生物)

平均点17点、最高点44点でした。30点以上が9人(良好です)、10点未満が17人。まだまだ、基礎知識不足の人が過半でした。3年生になってからの努力のない人がいるようで気になります。受験を諦めたのでしょうか?心配です。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉
『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈世界史〉

文系は既習範囲全て、理系は近現代から出題。日頃から予習等をし、知識が定着している者とそうでない者に分かれた。特に文系は地歴公民2科目要する者が多く、秋から開始では遅い。最終的に文化史やマイナー地域史に手が回らず失点する事態も起こる。近現代の復習も並行して行う。国立2次の論述対策は日頃から意識して行っておく。まずは単語を説明できること。次に単元の内容をまとめる。世界史は努力を裏切らない科目である。

〈日本史〉

古代・近代を中心に全範囲出題しました。センター問題に準じた正誤問題、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じた簡単な論述問題等を出題しました。基礎基本から難解な問題も出題しました。残念ながら、まだ社会のほうにまで勉強が進んでいないように思われ、基礎基本問題も間違っている生徒も多数いました。夏休み明け以降、頑張ってくれるものと思います。

〈地理〉

第1問の大洋の海流についての問題でいきなり正答率が低かったです。これは基本中の基本です。海流の影響で気候が変化する場合があります(海岸砂漠など)。地形と気候関連問題は地誌のところでも出て来ます。都市に関する問題は少し地名を覚える必要があります。

(トルコのアンカラのように首都でありながら人口第1位でない都市など) 押しなべて2年次の問題の正答率が良くないです。地図帳をよく見ることと、再度の復習をしてください。

『成績のいい人はテストの見直しをしている……』

テストは結果ばかりをみるのではなく、間違った問題を必ず見直しをすること。間違い直しは最も効率のいい学習法です。見直しをしないのはとても損をしていることに気がつかない人は次のテストでは残念な結果に終わるかもよ…。わからないところは先生に質問してください。

〔大学入試センター試験への準備について〕

センター試験は、現役生は個人ではなく在籍高等学校経由で一括出願することになっています。出願方法や注意事項等の詳しい説明は、**9月4日の学年集会**で行う予定です。また、出願書類(センター試験では「**受験案内**」と呼んでいます。)は、最寄りの大学(神戸高校は神戸大学)より71回生全員分を取り寄せます。夏季休業中に申請や手続きが始まるものについて確認しておきます。

英語リスニング「イヤホン不適合措置申請」について

英語リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないために、試験当日ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」を下記の方法で入手し、最寄りの大学入試センター試験参加大学の入試担当窓口で確認の署名をしてもらった後、志願票の所定の欄に貼り付けて出願しなければなりません。イヤホンが自分の耳に合うかどうか不安を感じている人は、**進路指導部の先生**のところまで来てください。昨年の現物があります。

〔申請書の入手方法〕

- ①「大学入試センター」のホームページからダウンロードする。
- ② 進路指導室または学年(職員室)に取りに来る。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉
『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。